

令和4年度 東京情報大学総合情報研究所プロジェクト研究  
研究実績報告書

1. 研究課題名

千葉市教育委員会と連携で行うキャリア教育の構築～中学生の職業体験活動～

2. 研究組織

区分	氏名	所属・職名
研究代表者	原田 恵理子	総合情報学部 総合情報学科・教授
研究分担者	田邊 昭雄	総合情報学部 総合情報学科・教授
	大橋 宏嗣	千葉市教育委員会・指導主事
	中山 亜矢子	千葉市教育委員会・指導主事

3. 連携先団体等

団体名	担当部署
千葉市教育委員会	学校教育部 教育改革推進課

4. 研究期間

2022年4月1日～2023年3月31日（5年計画の4年目）

5. 研究の目的

従来の職業体験活動としての職場体験は、体験先の偏りや内容の課題が指摘され、新たな職場体験の在り方を検討することが急務とされている。そこで本研究は、職場体験を包括した職業体験活動をキャリア教育の視点から、キャリアプランニング能力に焦点化した職場体験を実施し、その効果の検証を目的とする。またキャリアプランニングに焦点化したキャリア教育実施に向けたキャリア教育主任の研修を開発し、その効果も検討する。

6. 研究報告

2019年度の予備実践を経た2年後の2022年度に、中学2年生を対象とするキャリアプランニングに焦点化した職業体験活動が実施され、キャリア意識尺度における「意思決定」「将来設計」と基礎的・汎用的能力尺度の「人間関係形成・社会形成能力」は男子よりも女子が高いことが明らかとなった。また、キャリア教育主任を対象とした研修では、中学校より小学校教員に、そして30代、1・2年目の教員に効果的な研修であることが明らかになった。今後はキャリア教育の定着に向けた教員研修と機能的な運営の在り方の検討が課題となる。

## 7. 成果の公表

原田恵理子・田邊昭雄（2023）. キャリア教育主任を対象とした研修効果に関する検討  
令和4年度合同研究発表会（日本学校心理士会千葉支部・日本学校教育相談学会千葉  
県支部 共催）及び日本学校心理士会南関東ブロック研修会（千葉支部主管） 研究発  
表⑤

原田恵理子・田邊昭雄（2023）. キャリア教育主任を対象とした研修効果に関する検討  
学校教育臨床研究（印刷中）

## 8. 総評

千葉市教育委員会 学校教育部教育改革推進課 指導主事 大橋宏嗣

本市では、今後の未来を見通すことが容易ではない不透明な時代の中において、「新しい時代を生きる子どもたちのための学校教育の充実」を重点の一つとして示しています。その方策の一つであるキャリア教育の重要性は、ますます増しています。本研究は、キャリア教育の充実を目指し、その一助となるような教員向け資料を作成し、キャリア教育を実践する教員のスキル向上につなげ、児童生徒のキャリアプランニング能力を育成していくものです。今年度は、これまでの研究により作成したガイドブックを活用し、市内小中学校の教員向けの研修、職場体験学習実践校による研究を進めました。次年度は、共同研究の最終年度となりますが、これまでの研究を深め、学校現場に還元させることで、キャリア教育の一層の充実が図れればと考えています。